Dell™ Optiplex™ 760

セットアップおよびクイックリファレンスガイド

本書には、お使いのコンピュータの機能概要、仕様、クイックセットアップ、ソフトウェア、トラブルシューティング情報を記載しています。OS、デバイス、およびテクノロジの詳細については、support.jp.dell.com で『Dell テクノロジガイド』を参照してください。

モデル DCSM、DCNE、DCCY、および DCTR

メモ、注意、警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、本書の Microsoft® Windows® OS についての説明は適用されません。

Macrovision 製品通知

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国 特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本著作権保護テクノロジの使用は、Macrovision Corporation による認可を受ける必要があり、同社による許可がない限り、家庭およびその他の限られた観賞目的に制限されています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

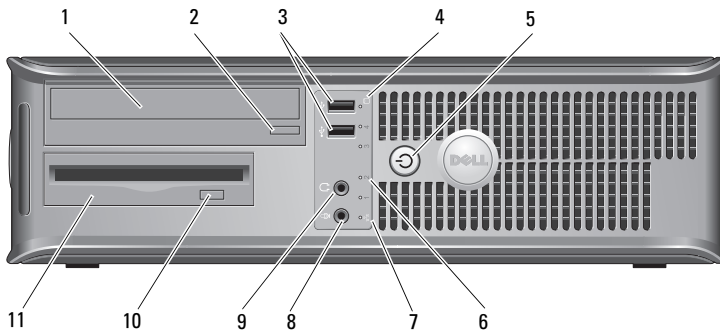
モデル DCSM、DCNE、DCCY、および DCTR

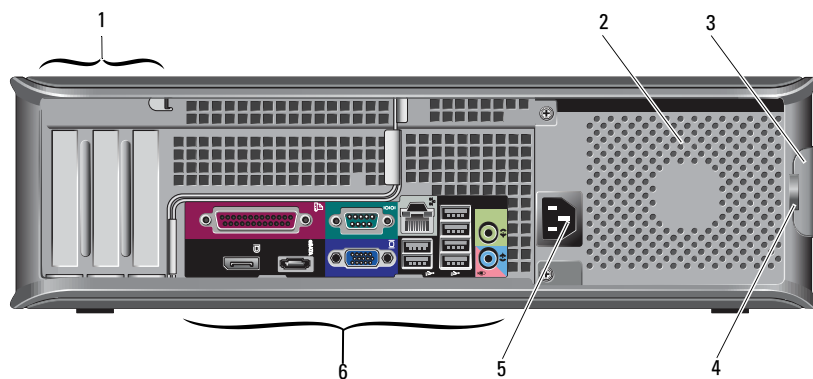
2008 年 9 月　　P/N K061D　　Rev. A00

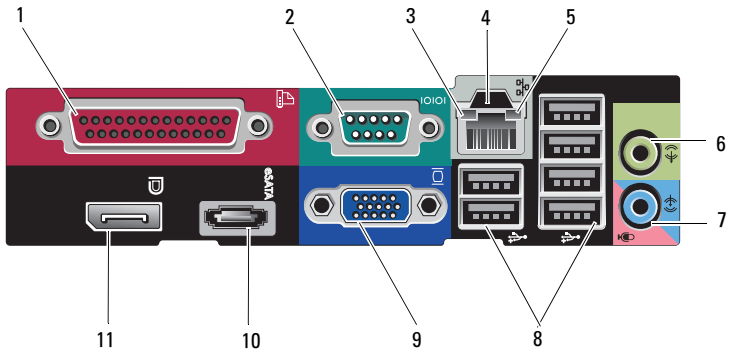
目次

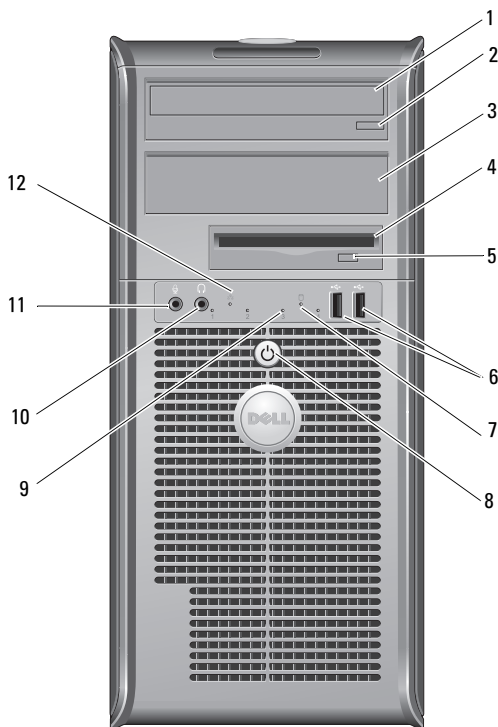
1

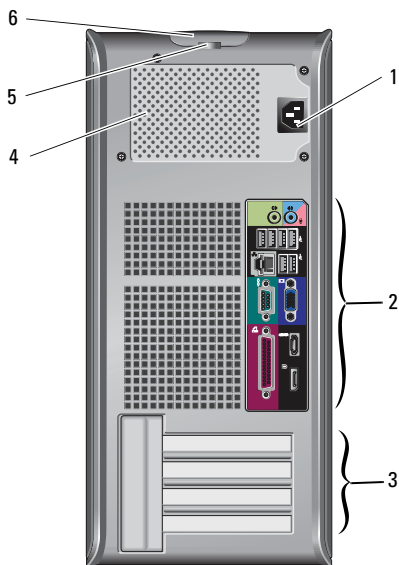
お使いの コンピュータについて

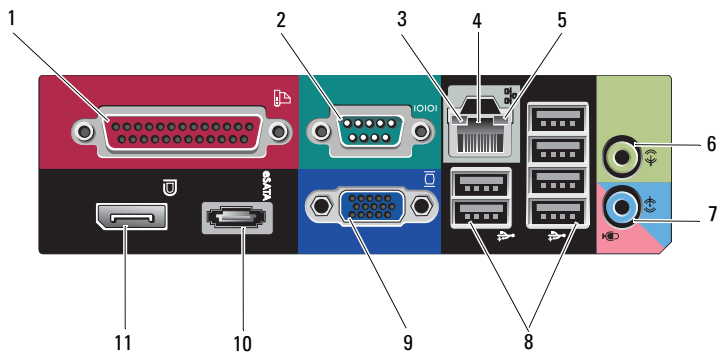
デスクトップ — 正面図

1	オプティカルドライブ	2	オプティカルドライブ取り出しボタン
3	USB 2.0 コネクタ（2）	4	ハードドライブアクティビティライト
5	電源ボタンと電源ライト	6	診断ライト（4）
7	ネットワーク接続ライト	8	マイクコネクタ
9	ヘッドフォンコネクタ	10	オプションのフロッピードライブ取り出しボタン
11	フロッピードライブまたはメディアカードリーダー（オプション）		

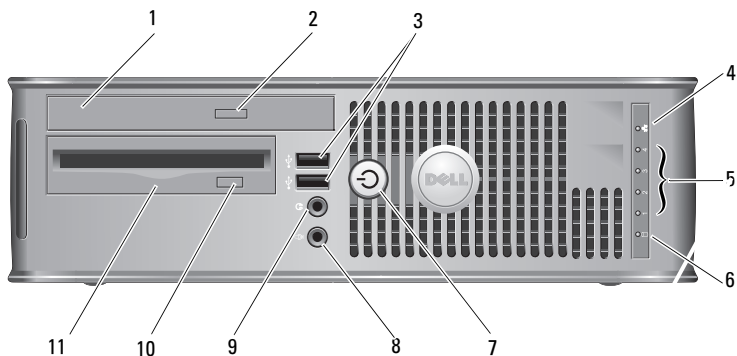
デスクトップ — 背面図

1	拡張カードスロット（3）	2	通気孔
3	カバーリリースラッチ	4	パドロックリング
5	電源コネクタ	6	背面パネルコネクタ

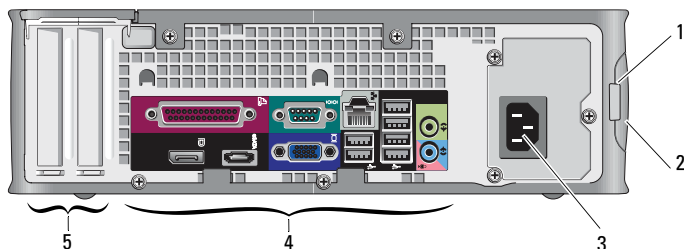
デスクトップ — 背面パネルコネクタ

1	パラレルコネクタ	2	シリアルコネクタ
3	リンク保全ライト	4	ネットワークコネクタ
5	ネットワークアクティビティライト	6	ライン出力コネクタ
7	ライン入力コネクタ	8	USB 2.0 コネクタ（6）
9	VGA ビデオコネクタ	10	eSATA コネクタ
11	DisplayPort コネクタ		

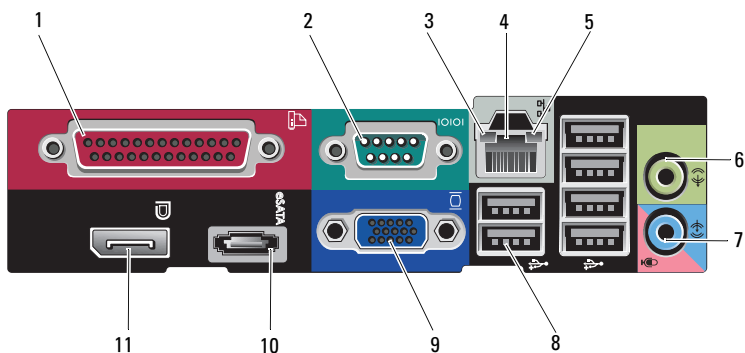
ミニタワー — 正面図

1	オプティカルドライブ	2	オプティカルドライブ取り出しボタン
3	オプションのオプティカルドライブベイ	4	フロッピードライブまたはメディアカードリーダー（オプション）
5	オプションのフロッピードライブ取り出しボタン	6	USB 2.0 コネクタ（2）
7	ハードドライブアクティビティライト	8	電源ボタンと電源ライト
9	診断ライト（4）	10	ヘッドフォンコネクタ
11	マイクコネクタ	12	ネットワーク接続ライト

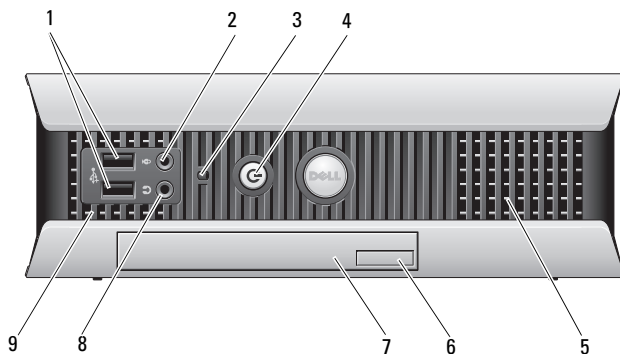
ミニタワー — 背面図

1	電源コネクタ	2	背面パネルコネクタ
3	拡張カードスロット（4）	4	通気孔
5	パドロックリング	6	カバーリリースラッチ

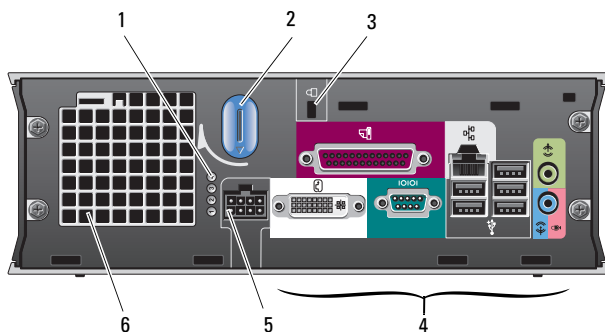
ミニタワー — 背面パネルコネクタ

1	パラレルコネクタ	2	シリアルコネクタ
3	リンク保全ライト	4	ネットワークコネクタ
5	ネットワークアクティビティライト	6	ライン出力コネクタ
7	ライン入力コネクタ	8	USB 2.0 コネクタ（6）
9	VGA ビデオコネクタ	10	eSATA コネクタ
11	DisplayPort コネクタ		

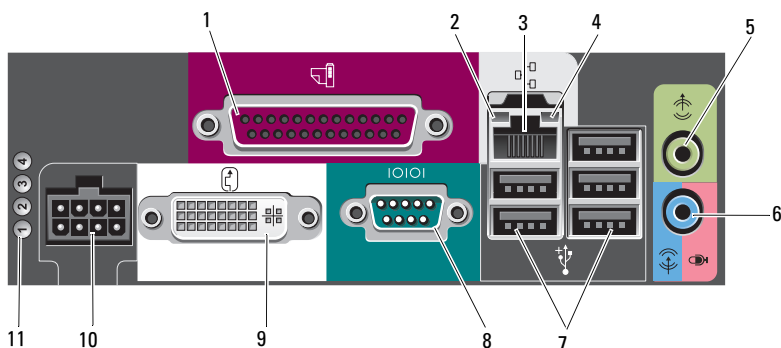
スモールフォームファクタ — 正面図

1	オプティカルドライブ	2	オプティカルドライブ取り出しボタン
3	USB 2.0 コネクタ（2）	4	ネットワーク接続ライト
5	診断ライト（4）	6	ハードドライブアクティビティライト
7	電源ボタンと電源ライト	8	マイクコネクタ
9	ヘッドフォンコネクタ	10	オプションのフロッピードライブ取り出しボタン
11	フロッピードライブまたはメディアカードリーダー（オプション）		

スモールフォームファクタ — 背面図

1	パドロックリング	2	カバーリリースラッチ
3	電源コネクタ	4	背面パネルコネクタ
5	拡張カードスロット（2）		

スモールフォームファクタ — 背面パネルコネクタ

1	パラレルコネクタ	2	シリアルコネクタ
3	リンク保全ライト	4	ネットワークコネクタ
5	ネットワークアクティビティライト	6	ライン出力コネクタ
7	ライン入力コネクタ	8	USB 2.0 コネクタ（6）
9	VGA ビデオコネクタ	10	eSATA コネクタ
11	DisplayPort コネクタ		

ウルトラスモールフォームファクタ — 正面図

1	USB 2.0 コネクタ（2）	2	マイクコネクタ
3	ハードドライブ動作ライト	4	電源ボタンと電源ライト
5	通気孔	6	オプティカルドライブ取り出しボタン
7	オプティカルドライブ	8	ヘッドフォンコネクタ
9	通気孔		

ウルトラスモールフォームファクタ — 背面図

1	診断ライト（4）	2	カバーリリースノブ
3	セキュリティケーブルスロット	4	背面パネルコネクタ
5	電源コネクタ	6	通気孔

ウルトラスモールフォームファクタ — 背面パネルコネクタ

1	パラレルコネクタ	2	リンク保全ライト
3	ネットワークコネクタ	4	ネットワークアクティビティライト
5	ライン出力コネクタ	6	ライン入力コネクタ
7	USB 2.0 コネクタ（5）	8	シリアルコネクタ
9	DVI ビデオコネクタ	10	電源コネクタ
11	診断ライト（4）		

2

コンピュータのセットアップ

警告：本項の手順を開始する前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

クイックセットアップ

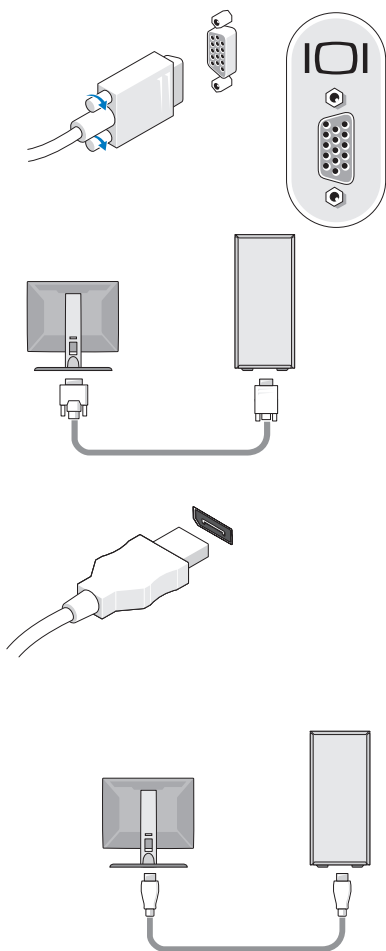
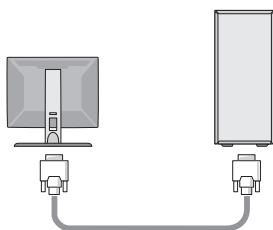
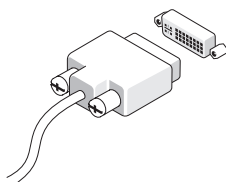
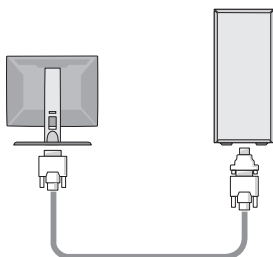
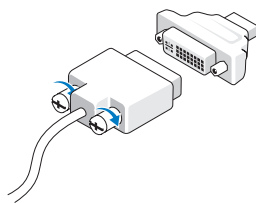
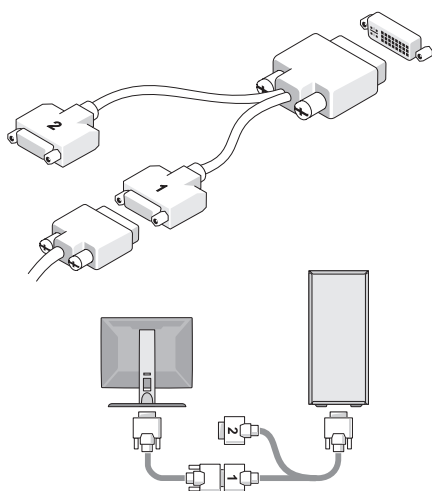
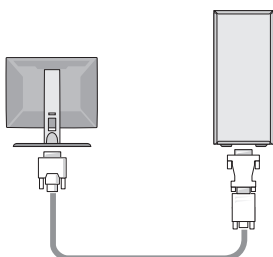
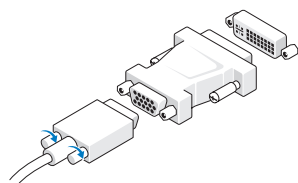
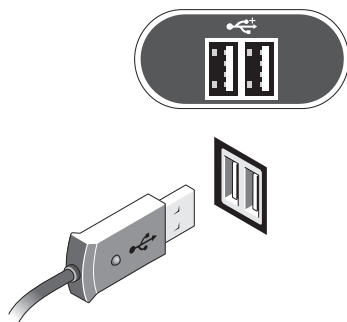
メモ：別途ご注文いただかないと同梱されないデバイスもあります。

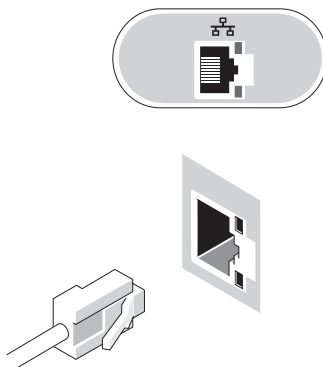
1 モニターの接続には、次のいずれかのケーブルまたはアダプタを 1 本（台）のみ使用します。

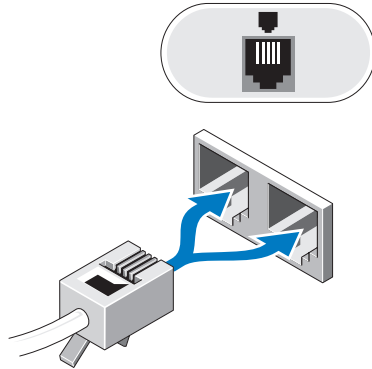
- 青色の VGA ケーブル
- DisplayPort ケーブル
- DisplayPort-to-DVI アダプタ
- 白色の DVI ケーブル
- デュアルモニター用 Y アダプタケーブル

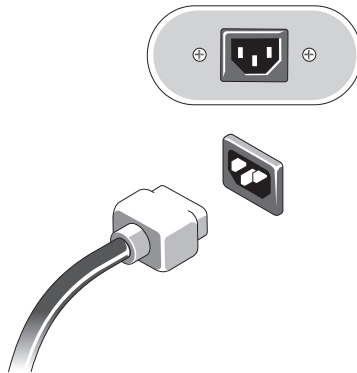
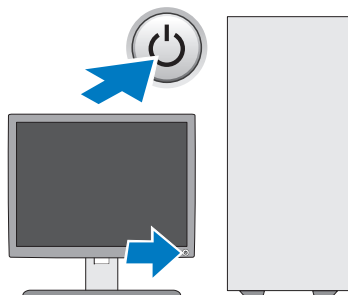
メモ：デスクトップ、ミニタワー、およびスモールフォームファクタコンピュータは、VGA または DisplayPort 接続をネイティブでサポートしています。

メモ：ウルトラスモールフォームファクタコンピュータは DVI-I 接続のみをネイティブでサポートしています。

2
1
2
1

2 キーボードまたはマウスなどの USB デバイスを接続します。

注意：ネットワークケーブルは必ず、下図のアイコンが刻印されているコネクタに接続してください。

3 ネットワークケーブルを接続します。

注意：モデムは必ず、下図のアイコンが刻印されているコネクタに接続してください。

4 モデムを接続します（オプション）。

5　電源ケーブル（単一または複数）を接続します。

メモ：ウルトラスモールフォームファクタコンピュータを使用する場合は、23 ページの「AC 電源アダプタへの接続 （ウルトラスモールフォームファクタのみ）」を参照してください。

6 モニターとコンピュータの電源ボタンを押します。

7 ネットワークに接続します。

AC 電源アダプタへの接続（ウルトラスモールフォームファクタのみ）

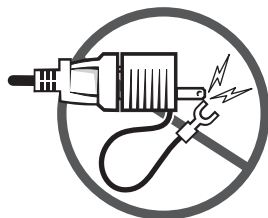
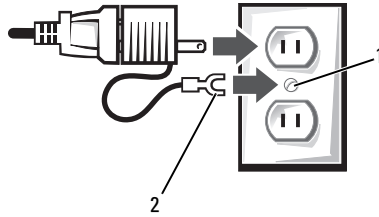
1 AC 電源アダプタをコンピュータ背面の電源コネクタに接続します。接続を確実にするために、ラッチがカチッとロックされたことを確認してください。

2 AC 電源ケーブルの片端を電源アダプタに接続します。

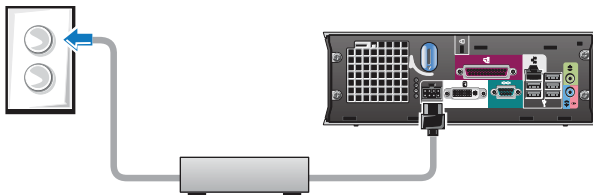
警告：電源アダプタケーブルに緑のアース用コードがある場合は、緑のアース用コードと電源のリード線が接触しないように注意してください。感電、火災、またはコンピュータの損傷の原因となります。

3 AC 電源ケーブルに電源コンセント接続用の緑のアース用コードがある場合は、金属製のアースコネクタをコンセントのアース端子（ネジの場合が多い）に接続します（下図を参照）。

a アース端子のネジを緩めます。

b 金属製のアースコネクタをアース端子の後ろ側に挿入し、アース端子を締めます。

1　アース端子（ネジ）

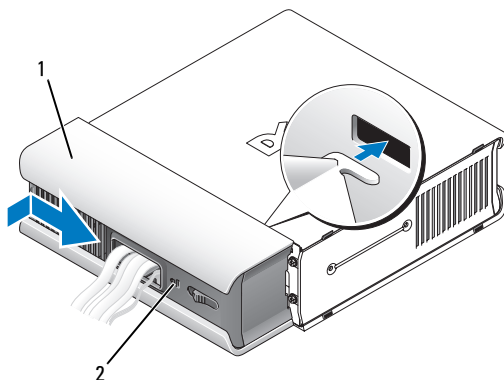
2　金属製のアースコネクタ

4　AC 電源ケーブルを電源コンセントに接続します。

AC 電源アダプタにはステータスライトがあります。ライトはアダプタがコンセントに接続されていない時はオフで、以下の状態に応じて緑色または黄色に点灯します。

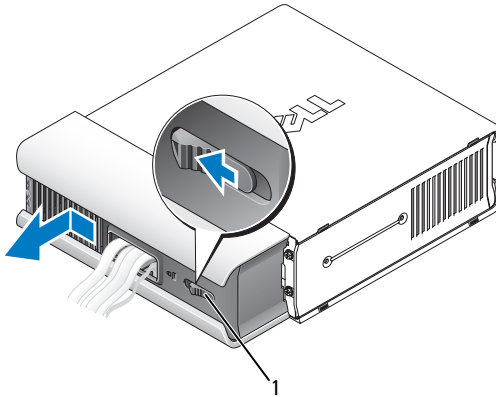
- 緑色のライト — 緑色に点灯している時は、電源アダプタが AC コンセントとコンピュータに接続されています。
- 黄色のライト — 黄色に点灯している時は、電源アダプタが AC コンセントには接続されているものの、コンピュータには接続されていません。この状態では、コンピュータは作動しません。AC 電源アダプタをコンピュータに接続するか、またはプラグをコンセントから抜いて接続しなおすことで、電源アダプタをリセットします。

ウルトラスモールフォームファクタのケーブルカバー（オプション）

ケーブルカバーの取り付け

1 すべての外付けデバイスケーブルをケーブルカバーの穴に通したかを確認します。
2 コンピュータの背面にあるコネクタにすべてのデバイスケーブルを接続します。
3 ケーブルカバーの下の部分を持ち、コンピュータの背面パネルにあるスロットにタブを合わせます。
4 タブをスロットに差し込み、ケーブルカバーが正しい位置に収まるまでカバーをスライドさせて、カバーの端とシャーシの端を合わせます（図を参照）。
5 セキュリティ用デバイスをセキュリティケーブルスロットに取り付けます（オプション）。

1 ケーブルカバー
2 セキュリティケーブルスロット

ケーブルカバーの取り外し

1 セキュリティケーブルスロットにセキュリティデバイスが取り付けられている場合、デバイスを取り外します。

1	リリースボタン

2 リリースボタンをスライドさせ、ケーブルカバーをつかみ、図に示すようにカバーを止まる位置まで横にスライドさせ、持ち上げて取り外します。

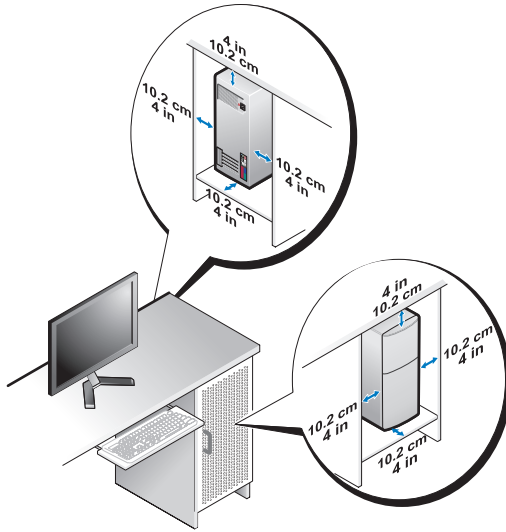
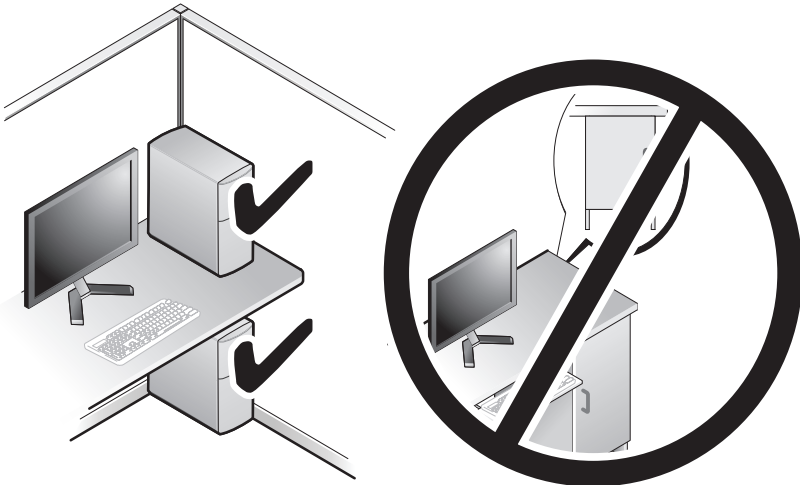
エンクロージャにコンピュータを設置する場合

コンピュータをエンクロージャに設置すると、空気の流れが妨げられ、コンピュータのパフォーマンスが影響を受けたり、場合によってはオーバーヒートの原因にもなります。コンピュータをエンクロージャに設置する場合は、次のガイドラインに従ってください。

警告：コンピュータをエンクロージャに設置する前に、お使いのコンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。

注意：本書に示す動作時の温度仕様は、動作時の最大周囲温度です。コンピュータをエンクロージャに設置する場合は、室内の周囲温度を考慮する必要があります。たとえば、室内の周囲温度が 25 ℃ の場合、コンピュータの仕様によっては、わずか 5 ～ 10 ℃ 上昇するだけで最大動作温度に達します。お使いのコンピュータの仕様の詳細については、37 ページの「仕様」を参照してください。

- コンピュータの通気が正常に行われるように、通気孔があるすべての面に少なくとも約 10 cm の空間を確保してください。
- エンクロージャに扉がある場合、前面および背面エンクロージャを通じて、少なくとも 30 パーセントの空気循環を可能にする種類の扉である必要があります。

注意：通気を妨げるエンクロージャにはコンピュータを設置しないでください。通気が妨げられると、コンピュータのパフォーマンスが影響を受けたり、場合によってはオーバーヒートの原因にもなります。

- コンピュータを机の上または下の角に設置する場合は、通気が正常に行われるように、コンピュータの背面から壁までに少なくとも約 5 cm の空間を確保してください。

インターネットへの接続

メモ：ISP および ISP が提供するオプションは、国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が必要です。ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コネクタに電話線を接続します。DSL またはケーブル（衛星）モデム接続をお使いの場合は、セットアップの手順についてはご契約の ISP または携帯電話サービスにお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある ISP から提供されたショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 Microsoft ® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。

3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップする場合は、下記の該当する項の手順を実行します。

メモ：インターネットに接続できない場合は、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていた場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

メモ：ご契約の ISP 情報をご用意ください。ISP に登録していない場合は、インターネット接続 ウィザードをご利用ください。

Microsoft® Windows Vista® OS の場合

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 Windows Vista の**スタート**ボタン → **コントロールパネル** をクリックします。

3 **ネットワークとインターネット**の **インターネットへの接続** をクリックします。

4 **インターネットへの接続** ウィンドウで、希望する接続方法によって、**ブロードバンド（PPPoE）**または **ダイヤルアップ** をクリックします。

   • DSL、衛星モデム、ケーブルテレビのモデム、または Bluetooth® ワイヤレステクノロジ接続を使用する場合は、**ブロードバンド** を選択します。

   • ダイヤルアップモデムまたは ISDN を使用する場合は、**ダイヤルアップ** を選択します。

メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、 選択についての説明を表示します をクリックするか、 ご契約の ISP にお問い合わせください。

5 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

Microsoft Windows® XP の場合

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 **スタート** → **Internet Explorer** → **インターネットに接続** をクリックします。

3 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。

   • ISP と契約していない場合は、**インターネット サービス プロバイダ（ISP）の一覧から選択する** をクリックします。

   • ISP からセットアップ情報を入手済みであるものの、セットアップ CD を受け取っていない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。

   • セットアップ CD を持っている場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

4 **次へ** をクリックします。

手順 3 で **接続を手動でセットアップする** を選んだ場合は、手順 5 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。

メモ：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5 **インターネットにどう接続しますか ?** で該当するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

6 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows Vista® OS の場合

1 Windows Vista のスタートボタン をクリックし、**ファイルと設定の転送** → **Windows 転送ツールの開始** をクリックします。

2 **ユーザーアカウント制御**ダイアログボックスで、**続行** をクリックします。

3 **新しい転送を開始する** または **実行中の転送を続行する** をクリックします。

4 Windows 転送ツール ウィザードの画面の指示に従います。

Microsoft Windows® XP の場合

Microsoft Windows XP には、データを元のコンピュータから新しいコンピュータに転送する、ファイルと設定の転送ウィザードがあります。

ネットワークまたはシリアル接続を介して新しいコンピュータにデータを転送するか、書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアにデータを保存して新しいコンピュータに転送します。

メモ：古いコンピュータと新しいコンピュータの入出力（I/O）ポート間を直接シリアルケーブルで接続することで、2 台のコンピュータ間で情報を転送できます。
2 台のコンピュータの間で直接ケーブル接続をセットアップする手順については、 Microsoft 技術情報 305621「How to Set Up a Direct Cable Connection Between Two Computers in Windows XP」を参照してください。この情報は一部の国では利用できない場合があります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザードを実行する必要があります。

『再インストール用』メディアを使用してファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

メモ：この手順では、『再インストール用』メディアが必要です。このメディアはオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

新しいコンピュータでファイルの転送の準備をするには、次の手順を実行します。

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、**スタート**→ **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。

2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。

3 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ** をクリックします。

4 **Windows XP CD がありますか ?** 画面で **Windows XP CD からウィザードを使います** → **次へ** をクリックします。

5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータの前に行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

1 古いコンピュータに Windows XP の『再インストール用』メディアをセットします。

2 **Microsoft Windows XP 画面で、追加のタスクを実行する** をクリックします。

3 **実行する操作の選択** 画面で、**ファイルと設定を転送する** → **次へ** をクリックします。

4 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** → **次へ** をクリックします。

5 **転送方法を選択してください。** 画面で、希望の転送方法をクリックします。

6 **何を転送しますか ?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

7 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの 「今、古いコンピュータに行ってください」。画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。

ウィザードは収集したファイルと設定を新しいコンピュータに適用します。

3 **完了** 画面で **完了** をクリックしてから、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアを使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

『再インストール用』メディアを使用せずに、ファイルと*設定の転送*ウィザードを実行するには、バックアップイメージファイルをリムーバブルメディアに作成できるウィザードディスクを作成する必要があります。

ウィザードディスクを作成するには、Windows XP を搭載した新しいコンピュータを使用して、以下の手順を実行します。

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、**スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。

2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。

3 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ** → **次へ** をクリックします。

4 **Windows XP CD がありますか ?** 画面で、**ウィザード ディスクを次のドライブに作成します** → **次へ** をクリックします。
5 書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアをセットして、**OK** をクリックします。
6 ディスク作成が完了したら、「今、古いコンピュータに行ってください」。というメッセージが表示されますが、**次へ** はクリックしないでください。
7 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーするには、次の手順を実行します。

1 古いコンピュータにウィザードディスクをセットし、**スタート** → **ファイル名を指定して実行** をクリックします。
2 **ファイル名を指定して実行** ウィンドウの **名前** フィールドで、適切なリムーバブルメディアの **fastwiz** のパスを参照して **OK** をクリックします。
3 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
4 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送元の古いコンピュータ** → **次へ** をクリックします。
5 **転送方法を選択してください。** 画面で、希望の転送方法をクリックします。
6 **何を転送しますか ?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

   情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
7 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください**。画面で、**次へ** をクリックします。
2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。画面に表示される指示に従ってください。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

   設定とファイルがすべて適用されると、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています…** 画面が表示されます。
3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

3

仕様

メモ：提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細については、**スタート** → **ヘルプとサポート**をクリックし、コンピュータに関する情報を表示するためのオプションを選択してください。

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Intel® Core™2 Duo; 最大速度 1,333 MHz の FSB
	Intel Pentium® デュアルコア; 最大速度 800 MHz の FSB
	Intel Celeron®; 最大速度 800 MHz の FSB
L2（レベル 2）キャッシュ	512 KB 以上のパイプラインバースト、8 ウェイセットアソシエイティブ、ライトバック SRAM

システム情報	
チップセット	Intel Q43 Express チップセット w/ICH10D
DMA チャネル数	8
割り込みレベル数	24
BIOS チップ（NVRAM）	32 Mb
ネットワークアダプタ	10/100/1000 Mbps の通信が可能な内蔵ネットワークインタフェース

メモリ	
タイプ	667 MHz または 800 MHz の DDR2 SDRAM、非 ECC メモリのみ
メモリコネクタ数	
ミニタワー、デスクトップ、およびスモールフォームファクタ	4 個
ウルトラスモールフォームファクタ	2 個
メモリ容量	512 MB、1 GB、2 GB、3 GB、または 4 GB 非 ECC
最小メモリ	512 MB
最大搭載メモリ	4 GB

ビデオ	
タイプ	
内蔵	Intel オンボードビデオ 512 MB を超えるシステムメモリ総容量において、最大 256 MB のビデオメモリ(共有)
外付け	PCI Express x16 スロットには、PCI Express カードまたは DVI グラフィックカード(デュアルモニターサポート用)を取り付けることができます。 **メモ：**ウルトラスモールフォームファクタコンピュータは、内蔵ビデオのみをサポートします。

オーディオ	
タイプ	ADI 1984A ハイデフィニッションオーディオ

拡張バス	
バスのタイプ	PCI 2.3 PCI Express 2.0 SATA 1.0A および 2.0 eSATA USB 2.0
バス速度	PCI：133 MB / 秒 PCI Express x1 スロット双方向速度 — 250 MB / 秒 x16 スロット双方向速度 — 8 GB / 秒 SATA：1.5 Gbps および 3.0 Gbps eSATA: 3.0 Gbps USB: 480 Mbps

カード	
PCI（ライザーカードなし）	
ミニタワー	フルハイトカード 2 枚
デスクトップ	ロープロファイルカード 2 枚
スモールフォームファクタ	ハーフレングスカード 1 枚
PCI（ライザーカード使用）	
デスクトップ	フルハイトまたはハーフレングスのカードを 2 枚まで ロープロファイルカード 1 枚
PCI Express x1	
ミニタワー	フルハイトカード 1 枚
PCI Express x16（ライザーカード不使用）	
ミニタワー	フルハイトカード 1 枚
デスクトップおよびスモールフォームファクタ	ロープロファイルカード 1 枚

カード (続き)	
PCI Express x16(ライザーカード使用)	
デスクトップコンピュータ	フルハイトカード 1 枚

メモ：ディスプレイがデスクトップ、ミニタワー、またはスモールフォームファクタのビルトイン DisplayPort コネクタに接続されている場合、PCI Express x16 スロットは無効です。

ドライブ	
外部アクセス用	
5.25 インチドライブベイ	
ミニタワー	2 台
デスクトップ	1 台
5.25 インチスリムラインベイ	
スモールフォームファクタ	1 台
5.25 インチ D モジュールベイ	
ウルトラスモールフォームファクタ	1 台
3.5 インチドライブベイ	
ミニタワーおよびデスクトップ	1 台
3.5 インチスリムラインベイ	
スモールフォームファクタ	1 台
3.5 インチ D モジュールベイ	
ウルトラスモールフォームファクタ	1 台
内部アクセス用:	
3.5 インチ SATA ドライブベイ	
ミニタワー	2 台
デスクトップ、スモールフォームファクタ、およびウルトラスモールフォームファクタ	1 台

ドライブ （続き）	
利用可能なデバイス	
3.5 インチ SATA ハードドライブ	
ミニタワー	2 台まで
デスクトップ、スモールフォームファクタ、およびウルトラスモールフォームファクタ	1 台
SATA DVD-ROM/ DVD+/-RW/ CD +/- RW ドライブ	
ミニタワー	5.25 インチドライブ 2 台まで
デスクトップ	5.25 インチドライブ 1 台
スモールフォームファクタ	スリムラインドライブ 1 台
ウルトラスモールフォームファクタ	D モジュールドライブ 1 台
3.5 インチフロッピードライブまたは 19-in-1 メディアカードリーダー	
ミニタワー	1 台
デスクトップ	1 台
スモールフォームファクタ	スリムラインドライブ 1 台
ウルトラスモールフォームファクタ	D モジュールフロッピードライブ 1 台

コネクタ	
外付けコネクタ：	
オーディオ	
背面パネル	ライン入力 / マイクおよびライン出力用コネクタ 2 個
前面パネル	ヘッドフォンおよびマイク用の前面パネルコネクタ 2 個
eSATA	7 ピンコネクタ 1 個 **メモ：**ウルトラスモールフォームファクタコンピュータには eSATA コネクタがありません。

コネクタ （続き）	
ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ 1 個
パラレル	25 ピンコネクタ（双方向）1 個
シリアル	9 ピンコネクタ 1 個、16550C 互換
USB	
前面パネル	2 個
背面パネル	6 個 **メモ：**ウルトラスモールフォームファクタには、背面パネルに 5 個の USB コネクタがあります。 **メモ：**USB コネクタはすべて USB 2.0 準拠です。
ビデオ	
ミニタワー、デスクトップ、およびスモールフォームファクタ	15 ピン VGA コネクタ（メス） 20 ピン DisplayPort コネクタ
ウルトラスモールフォームファクタ	28 ピン DVI-I コネクタ
システム基板コネクタ:	
PCI	
ミニタワーおよびデスクトップ スモールフォームファクタ	コネクタ 2 個 コネクタ 1 個
コネクタサイズ	120 ピン
コネクタデータ幅（最大）	32 ビット
PCI Express x1	
ミニタワー	コネクタ 1 個
コネクタサイズ	36 ピン
コネクタデータ幅（最大）	PCI Express レーン（1）

コネクタ （続き）	
PCI Express x16	
ミニタワー、デスクトップ、およびスモールフォームファクタ	コネクタ 1 個
コネクタサイズ	164 ピン
コネクタデータ幅（最大）	PCI Express レーン × 16
シリアル ATA	
ミニタワー	コネクタ 4 個
デスクトップおよびスモールフォームファクタ	コネクタ 2 個
ウルトラスモールフォームファクタ	コネクタ 1 個
コネクタサイズ	7 ピンコネクタ
メモリ	
ミニタワー、デスクトップ、およびスモールフォームファクタ	コネクタ 4 個
ウルトラスモールフォームファクタ	コネクタ 2 個
コネクタサイズ	240 ピン
内蔵 USB デバイス	
ミニタワー、デスクトップ、およびスモールフォームファクタ	10 ピンコネクタ 1 個（USB ポート 2 個をサポート）
フロッピードライブ	
ミニタワーおよびデスクトップ	34 ピンコネクタ 1 個
スモールフォームファクタ	26 ピンスリムコネクタ 1 個

コネクタ （続き）	
プロセッサファン	
ミニタワー、デスクトップ、およびスモールフォームファクタ	5 ピンコネクタ 1 個
ウルトラスモールフォームファクタ	5 ピンコネクタ 2 個
ハードドライブファン	
スモールフォームファクタ	5 ピンコネクタ 1 個
ウルトラスモールフォームファクタ	3 ピンスリムコネクタ 1 個
前面パネルコントロール	40 ピンコネクタ 1 個
プロセッサ	775 ピンコネクタ 1 個
電源 12V	4 ピンコネクタ 1 個
電源	24 ピンコネクタ 1 個

ボタンとライト	
コンピュータの前面	
電源ボタン	押しボタン
電源ライト	緑色のライト — 緑色の点滅はスリープ状態、緑色の点灯は電源がオンの状態を示します。
	黄色のライト — 黄色の点滅はシステム基板に問題があることを示します。コンピュータが起動せず、黄色に点灯する場合は、システム基板が初期化を開始できないことを示します。その場合は、システム基板または電源ユニットに問題が発生している可能性があります（50 ページの「電源の問題」を参照）。
ドライブアクティビティライト	緑色のライト — 緑色の点滅は、コンピュータが SATA ハードドライブ または CD/DVD との間でデータの読み書きを行っていることを示します。

ボタンとライト （続き）	
ネットワーク接続ライト	緑色のライト — ネットワークとコンピュータの間の接続が良好です。 オフ（消灯）— コンピュータがネットワークへの物理的な接続を検出していません。
診断ライト	4 つのライト **メモ：**ウルトラスモールフォームファクタコンピュータの場合、診断ライトは背面パネルにあります。15 ページの「ウルトラスモールフォームファクタ — 背面図」を参照してください。
コンピュータの背面	
リンク保全ライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	緑色のライト — ネットワークとコンピュータが 10 Mbps の速度で正しく接続されていることを示します。 橙色のライト — ネットワークとコンピュータが 100 Mbps の速度で正しく接続されていることを示します。 黄色のライト — ネットワークとコンピュータが 1000 Mbps の速度で正しく接続されていることを示します。 オフ（消灯）— コンピュータがネットワークへの物理的な接続を検出していません。
ネットワークアクティビティライト（内蔵ネットワークアダプタ上）	黄色のライト — 黄色の点滅は、ネットワークが動作していることを示します。

電源	
DC 電源ユニット	
ワット数	
ミニタワー	305W（非 EPA）、255W（EPA）
デスクトップ	255 W
スモールフォームファクタ	235 W
ウルトラスモールフォームファクタ	220 W

電源 （続き）	
最大熱消費（MHD）	
ミニタワー	1041 BTU / 時
デスクトップ	955 BTU / 時
スモールフォームファクタ	938 BTU / 時
ウルトラスモールフォームファクタ	751 BTU / 時

メモ：熱消費は電源ユニットのワット数定格によって算出されています。

電圧（電圧設定に関する重要な情報については、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項を参照してください）。	
ミニタワー	115/230 VAC、50/60 Hz、3.6/1.8 A
デスクトップ	115/230 VAC、50/60 Hz、4.0/2.0 A
スモールフォームファクタ	115/230 VAC、50/60 Hz、3.5/1.8 A
ウルトラスモールフォームファクタ	12 VDC、18 A
コイン型バッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

サイズと重量	
縦幅	
ミニタワー	36.2 cm
デスクトップ	11.4 cm
スモールフォームファクタ	9.26 cm
ウルトラスモールフォームファクタ	26.4 cm

サイズと重量 （続き）	
横幅	
ミニタワー	17.0 cm
デスクトップ	39.9 cm
スモールフォームファクタ	31.37 cm
ウルトラスモールフォームファクタ	8.9 cm
奥行き	
ミニタワー	43.5cm
デスクトップ	35.3 cm
スモールフォームファクタ	34.03 cm
ウルトラスモールフォームファクタ	ケーブルカバーなし — 25.3 cm 標準ケーブルカバー付き — 33 cm 延長ケーブルカバー付き — 36.1 cm
重量	
ミニタワー	12.7 kg
デスクトップ	10.4 kg
スモールフォームファクタ	7.4 kg
ウルトラスモールフォームファクタ	ケーブルカバーなし — 4.5 kg 標準ケーブルカバー付き — 4.9 kg 延長ケーブルカバー付き — 4.9 kg

環境	
温度	
動作時	10 ～ 35 ℃
保管時	-40 ～ 65 ℃
相対湿度 （結露しないこと）	動作時: 20 ～ 80 パーセント（最大湿球温度 29° C） 保管時: 5 ～ 95 パーセント（最大湿球温度 38° C）
最大耐久振動	
動作時	0.0002 G^2/Hz で 5 ～ 350 Hz
保管時	0.001 ～ 0.01 G^2/Hz で 5 ～ 500 Hz

環境（続き）	
最大耐久衝撃	
動作時	パルス持続時間 2 ミリ秒 +/- 10% で 40 G +/- 5%（51 cm/ 秒に相当）
保管時	パルス持続時間 2 ミリ秒 +/- 10% で 105 G +/- 5%（127 cm/ 秒に相当）
高度	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m
空気中浮遊汚染物質レベル	G2、または ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

4

トラブルシューティング

警告：本項の手順を開始する前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

警告：カバーを開く前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。

メモ：システムメッセージへの対応も含め、トラブルシューティングの詳細については、**support.jp.dell.com** で『サービスマニュアル』を参照してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングの実行

ハードウェアの非互換性の問題を解決するためにハードウェアのトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

Windows Vista® の場合

1. Windows Vista のスタートボタン をクリックしてから、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2. 検索フィールドに、`hardware troubleshooter` と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
3. 検索結果のうち、問題を最もよく表しているオプションを選択し、その後に表示されるトラブルシューティングの手順に従います。

Windows® XP の場合

1. **スタート** → **ヘルプとサポート** をクリックします。
2. 検索フィールドに 「ハードウェアのトラブルシューティング 」と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
3. **問題を解決する** セクションで、**ハードウェアのトラブルシューティング** をクリックします。
4. **ハードウェアに関するトラブルシューティング** のリストで、問題に関連するオプションを選択し、**次へ** をクリックして、その後に表示されるトラブルシューティングの手順に従います。

ヒント

- デバイスが機能しない場合は、適切に接続されているか確認します。
- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合は、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合は、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、サポート担当者が問題を診断および解決するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合は、プログラムのマニュアルを参照してください。

電源の問題

警告：本項の手順を開始する前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントに装着しなおします。
- 電源タップ、電源延長ケーブル、およびその他のパワープロテクションデバイスを使用している場合は、それらを外してコンピュータの電源が正常に入ることを確認します。
- 使用している電源タップがあれば、電源コンセントに接続され、オンになっていることを確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。
- 主電源ケーブルと前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 —

- ディスプレイが接続されていて電源が入っているか確認します。
- ディスプレイが接続されていて電源が入っている場合は、**support.jp.dell.com** で『サービスマニュアル』を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスリープモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

電源ライトが黄色に点滅している場合 — コンピュータに電源は供給されていますが、デバイスが誤作動しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。

- すべてのメモリモジュールを取り外して、取り付けなおします。
- グラフィックスカードを含むすべての拡張カードを取り外して、取り付けなおします。

電源ライトが黄色に点灯している場合 — 電源に問題が発生しているか、デバイスが誤作動しているか、またはデバイスが正しく取り付けられていません。

- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板の電源コネクタにしっかりと接続されているかを確認します（**support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されていることを確認します。

電気的な妨害を解消します — 電気的な妨害の原因には、以下のものがあります。

- 電源、キーボード、およびマウスの延長ケーブルが使用されている。
- 同じ電源タップに接続されているデバイスが多すぎる。
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている。

メモリの問題

警告：本項の手順を開始する前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

メモリが不足しているというメッセージが表示される場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます。
- メモリモジュールを抜き差しし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics を実行します（55 ページの「Dell Diagnostics」を参照）。

メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを抜き差しし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します。
- 使用するメモリがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、38 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics を実行します（55 ページの「Dell Diagnostics」を参照）。

フリーズおよびソフトウェアの問題

コンピュータが起動しない

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

プログラムが応答しない

プログラムを終了します —

1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押してタスクマネージャを開き、**アプリケーション** タブをクリックします。

2 応答しなくなったプログラムをクリックして選択し、**タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする

メモ：ほとんどのソフトウェアのインストールの手順は、ソフトウェアのマニュアル、フロッピーディスク、CD または DVD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前のバージョンの Microsoft® Windows® OS 用に設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows Vista の場合

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラム** → **古いプログラムをこのバージョンの Windows で使用** をクリックします。

2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。

3 画面に表示される指示に従ってください。

Windows XP の場合

Windows XP には、Windows XP とは異なる OS に近い環境でプログラムが動作するように設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** → **プログラム** → **アクセサリ** → **プログラム互換性ウィザード** → **次へ** をクリックします。

2 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色（ブルースクリーン）になる

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合は、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 6 秒以上押し続けます。電源が切れたら、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティングについては、ソフトウェアのマニュアルを確認するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされている OS と互換性があるか確認します。
- お使いのコンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細に関しては、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと競合していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

デルテクニカルアップデートサービス

- デルテクニカルアップデートサービスは、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを電子メールにて事前に通知するサービスです。デルテクニカルアップデートサービスに登録するには、**support.dell.com/technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

Dell Diagnostics

警告：本項の手順を開始する前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dell Diagnostics をハードドライブから起動する場合

1 コンピュータが正常な電源コンセントに接続されていることを確認します。

2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

3 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。

メモ：キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

メモ：診断ユーティリィティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、*Drivers and Utilities* メディアから Dell Diagnostics を実行します。

4 任意のキーを押してハードディスクドライブ上の診断ユーティリティパーティションから Dell Diagnostics を起動し、画面の指示に従います。

Dell Drivers and Utilities メディアから Dell Diagnostics を起動する場合

メモ：デルの Drivers and Utilities メディアはオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

1 *Drivers and Utilities* メディアをセットします。

2 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

メモ：キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

メモ：次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

3 起動デバイスのリストが表示されたら、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示して <Enter> を押します。

4 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。

5 `1` を入力して、CD のメニューを開始し、<Enter> を押して続行します。

6 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、お使いのコンピュータに対応したバージョンを選択してください。

7 Dell Diagnostics の **Main Menu**（メインメニュー）が表示されたら、実行するテストを選択し、画面の指示に従います。

5

ソフトウェアの再インストール

ドライバ

ドライバの確認

1 お使いのコンピュータのデバイス一覧を確認します。

Microsoft® Windows Vista® の場合

a Windows Vista™ の**スタート**ボタン をクリックして、**コンピュータ** を右クリックします。

b **プロパティ** → **デバイスマネージャ** をクリックします。

メモ：ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。お客様がコンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に問い合わせて続行します。

Microsoft Windows® XP の場合

a **スタート** → **コントロールパネル** をクリックします。

b **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックし、**システム** をクリックします。

c **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックし、**デバイスマネージャ** をクリックします。

2 リストをスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（[**!**] の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（58 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照）。

ドライバおよびユーティリティの再インストール

注意：デルサポートサイト **support.jp.dell.com** および *Drivers and Utilities* メディアには、Dell™ コンピュータ用として承認済みのドライバが提供されています。その他の媒体からのドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しないおそれがあります。

以前のデバイスドライババージョンへの復帰

Windows Vista の場合

1 Windows Vista の**スタート**ボタン **をクリックして、コンピュータ** を右クリックします。

2 **プロパティ** → **デバイスマネージャ** をクリックします。

メモ：ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。お客様がコンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。

3 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ**をクリックします。

4 **ドライバ** タブ → **ドライバのロールバック** をクリックします。

Windows XP の場合

1 **スタート** → **マイコンピュータ** → **プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャ** をクリックします。

2 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ**をクリックします。

3 **ドライバ** タブ → **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合は、システムの復元（61 ページの「OS の復元」を参照）を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼動状態にコンピュータを戻します。

Drivers and Utilities メディアの使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元（61 ページの「OS の復元」を参照）で問題が解決しない場合は、*Drivers and Utilities* メディアからドライバを再インストールします。

1 Windows デスクトップが表示されている状態で、*Drivers and Utilities* メディアをドライブにセットします。

   Drivers and Utilities メディアを初めてお使いになる場合は、手順 2 に進みます。それ以外の場合は 手順 5 に進みます。

2 *Drivers and Utilities* メディアのインストールプログラムが起動したら、画面の指示に従います。

   メモ：ほとんどの場合、*Drivers and Utilities* プログラムは自動的に起動します。自動的に起動されない場合は、Windows エクスプローラを起動し、メディアドライブのディレクトリをクリックしてメディアの内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。

3 **InstallShield ウィザードの完了** ウィンドウが表示されたら、*Drivers and Utilities* メディアを取り出し、**完了** をクリックしてコンピュータを再起動します。

4 Windows デスクトップが表示されたら、*Drivers and Utilities* メディアをドライブに再びセットします。

5 **Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます** 画面で、**次へ** をクリックします。

   お使いのコンピュータで使用されているドライバが、**My Drivers— The ResourceCD has identified these components in your system**（マイドライバ — Resource CD はシステム上でこれらのコンポーネントを検出しました）ウィンドウに自動的に表示されます。

6 再インストールするドライバをクリックし、画面の指示に従います。

特定のドライバがリストに表示されていない場合、OS がそのドライバを必要としていないか、または、特定のデバイスに付属していたドライバを見つける必要があるのか、どちらかです。

手動によるドライバの再インストール

前項の説明に従ってドライバファイルをハードドライブに解凍した後で、次の手順を実行します。

Microsoft Windows Vista の場合

1 Windows Vista の**スタート**ボタン **をクリックして、コンピュータ** を右クリックします。
2 **プロパティ** → **デバイスマネージャ** をクリックします。

   メモ：ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。お客様がコンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。

3 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**オーディオ**または**ビデオ**）。
4 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
5 **ドライバ** タブ → **ドライバの更新** → **コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します** の順にクリックします。
6 **参照**をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
7 ドライバの名前をクリックし、**OK**→ **次へ** の順にクリックします。
8 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

Microsoft Windows XP の場合

1 **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** の順にクリックします。
2 **システム アイコン**をダブルクリック**し、ハードウェア タブをクリック**します。
3 **デバイスマネージャ** をクリックします。

   メモ：お客様がコンピュータの管理者の場合は、この先の手順に進むことができます。管理者でない場合は、管理者に問い合わせてデバイスマネージャを開いてください。

4 ドライバをインストールするデバイスの隣の + の記号をクリックします（たとえば、**オーディオ** または **ビデオ**）。

5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。

6 **ドライバ** → **ドライバの更新** → **一覧または特定の場所からインストールする（詳細）**の順にクリックし、**次へ** をクリックします。

7 **参照**をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。

8 ドライバの名前をクリックし、**OK** → **次へ** の順にクリックします。

9 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

OS の復元

次の方法で、お使いの OS を復元することができます。

- Microsoft Windows システムの復元は、データファイルに影響を及ぼすことなく、コンピュータを以前の状態に戻します。データファイルを保存したまま OS を復元するための最初の解決策として、システムの復元を実行してください。
- Windows Vista で利用可能な Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）を実行すると、お使いのハードドライブはコンピュータを購入された時の状態に戻ります。このプログラムは、ハードドライブ内の全データを永久に削除し、コンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムもすべて削除します。
- コンピュータに『再インストール用』メディアが付属している場合は、そのメディアを使用して OS を復元できます。ただし、『再インストール用』メディアを使用するとハードドライブ上のすべてのデータが削除されます。

Microsoft® Windows® システムの復元の使い方

メモ：このマニュアルの手順は、Windows のデフォルト表示用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると、動作しない場合があります。

システムの復元の開始

Windows Vista の場合

1 **スタート** をクリックします。

2 検索の開始ボックスに **システムの復元** と入力し、<Enter> キーを押します。

メモ：ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。お客様がコンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に問い合わせて目的の操作を続行します。

3 **次へ** をクリックして、画面に表示される指示に従います。

Windows XP の場合

注意：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元** の順にクリックします。

2 **コンピュータを以前の状態に復元する**、または **復元ポイントの作成** のどちらかをクリックします。

3 **次へ** をクリックし、その後の画面の指示に従います。

以前のシステムの復元の取り消し

注意：以前のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

Windows Vista の場合

1 **スタート** をクリックします。
2 検索の開始ボックスに **システムの復元** と入力し、<Enter> キーを押します。
3 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

Windows XP の場合

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元** の順にクリックします。
2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）の使い方

注意：Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）を使用すると、ハードドライブ上のデータ（文書、表計算、電子メールメッセージ、デジタル写真、音楽ファイルなど）が完全に削除され、コンピュータ購入後にインストールしたアプリケーションとドライバがすべて削除されます。Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）を使用する前にデータをバックアップしてください。Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）は、システムの復元を実行しても OS の問題が解決しなかった場合にのみ使用してください。

メモ：Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）は、一部の地域、一部のコンピュータでは利用できません。

Dell Factory Image Restore（デル出荷時のイメージの復元）（Windows Vista のみ）

1 コンピュータの電源を入れます。
2 Dell ロゴが表示されたら、<F8> を数回押して Vista の詳細ブートオプションウィンドウにアクセスします。
3 **お使いのコンピュータの修復** を選択します。

   システム回復オプション ウィンドウが表示されます。

4 キーボードレイアウトを選択して、**次へ** をクリックします。

5 回復オプションにアクセスするために、ローカルユーザーとしてログオンします。

6 コマンドプロンプトにアクセスするために、ユーザー名フィールドで `administrator` と入力し、**OK** をクリックします。

7 **Dell Factory Image Restore**（デル出荷時のイメージの復元）をクリックします。

メモ：使用する構成によっては、**Dell Factory Tools**、**Dell Factory Image Restore** の順序で選択しなければならない場合もあります。

8 **Dell Factory Image Restore**（デル出荷時のイメージの復元）の初期画面で、**次へ** をクリックします。

データの削除を確認する画面が表示されます。

注意：Factory Image Restore（出荷時のイメージの復元）を続行しない場合は、**Cancel**（キャンセル）をクリックします。

9 ハードディスクドライブの再フォーマット、およびシステムソフトウェアの工場出荷時の状態への復元の作業を続ける意思を確認するためのチェックボックスをクリックして、**Next**（次へ）をクリックします。

復元処理が開始します。復元処理が完了するまで 5 分以上かかる場合があります。OS および工場出荷時にインストールされたアプリケーションが工場出荷時の状態に戻ると、メッセージが表示されます。

10 **完了**をクリックして、コンピュータを再起動します。

Dell PC リストア（Windows XP のみ）

1 コンピュータの電源を入れます。

起動プロセスの間、**www.dell.com/jp** と書かれた青色のバーが画面の上部に表示されます。

2 青色のバーが表示されたら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。

<Ctrl><F11> を押すタイミングが遅れた場合は、コンピュータの起動完了を待ち、再起動します。

3 **Restore**（復元）をクリックし、**Confirm**（確認）をクリックします。

復元処理は完了までに約 6 ～ 10 分かかります。

4 プロンプトが表示されたら、**Finish**（完了）をクリックしてコンピュータを再起動します。
5 確認のメッセージが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。

コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、初めてコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。

6 **Next**（次へ）をクリックします。

システムの復元画面が表示されて、コンピュータが再起動します。

7 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

Windows XP で Dell PC リストアを削除する場合

注意：Dell PC リストアをハードドライブから永久に削除すると、PC リストアユーティリティがお使いのコンピュータから削除されます。Dell PC リストアを削除してしまうと、このユーティリティを使用してお使いのコンピュータの OS を復元することはできなくなります。

ハードドライブのスペースを増やすためであっても、お使いのコンピュータから PC リストアを削除しないことを勧めします。ハードドライブから PC リストアを削除してしまうと、コンピュータの OS を元の状態に戻すことができなくなります。

1 コンピュータにローカルの Administrator としてログオンします。
2 Microsoft Windows エクスプローラで、**c:\dell\utilities\DSR** に移動します。
3 ファイル名 **DSRIRRemv2.exe** をダブルクリックします。

メモ：お使いのコンピュータのハードドライブに PC リストア用パーティションがない場合は、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**終了** をクリックしてください。削除するパーティションはありません。

4 **OK** をクリックして、ハードディスクドライブ上の PC リストアパーティションを削除します。

5 確認のメッセージが表示されたら、**はい** をクリックします。

PC リストア用パーティションは削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが加えられます。

6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク（C）** を右クリックし、**プロパティ** をクリックして、使用できるディスク容量が増加していることを確認します。

7 **完了** をクリックし、**PC リストアの削除** ウィンドウを閉じて、コンピュータを再起動します。

『再インストール用』メディアの使い方

OS を再インストールする前に、以下を試してみます。

- Windows デバイスドライバのロールバック（58 ページの「以前のデバイスドライババージョンへの復帰」を参照）。
- Microsoft システムの復元（64 ページの「Dell PC リストア（Windows XP のみ）」を参照）。

注意：インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードディスクドライブから別のメディアにすべてのデータファイルをバックアップします。標準的なハードディスクドライブ構成において、コンピュータによって 1 番目に認識されるドライブがプライマリハードディスクドライブです。

Windows を再インストールするには、デルの『再インストール用』メディアおよびデルの *Drivers and Utilities* メディアが必要です。デルの *Drivers and Utilities* メディアには、コンピュータの注文時にプリインストールされたドライバが収録されています。デルの *Drivers and Utilities* メディアを使用して、必要なドライバをロードします。

メモ：コンピュータを発注した地域によって、またはメディアを購入品目に加えたかどうかによって、デルの *Drivers and Utilities* メディアと『再インストール用』メディアがシステムに同梱されていない場合があります。

Windows の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 『再インストール用』メディアをセットします。
3 **Windows のインストール** というメッセージが表示されたら、**終了** をクリックします。
4 コンピュータを再起動します。

   DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ： キーを押すタイミングが遅れて OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

   メモ： 次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスから起動します。

5 起動デバイスのリストが表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して <Enter> を押します。
6 任意のキーを押して **Boot from CD-ROM**（CD-ROM から起動）し、画面の指示に従ってインストールを完了します。
7 デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、その他のソフトウェアを再インストールします。

6

情報の調べ方

メモ：一部の機能やメディアはオプションであり、出荷時にコンピュータに付属していない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

メモ：追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

マニュアル / メディア / ラベル	内容
サービスタグ / エクスプレスサービスコード サービスタグ / エクスプレスサービスコードは、コンピュータに貼付されています。	• サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します • エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます **メモ：**サービスタグ / エクスプレスサービスコードは、コンピュータに貼付されています。
Drivers and Utilities メディア *Drivers and Utilities* メディアとして CD または DVD が、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。	• コンピュータの Diagnostics（診断）プログラム • お使いのコンピュータ用のドライバ **メモ：**ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。 • DSS（デスクトップシステムソフトウェア） • Readme ファイル **メモ：**メディアに収録されている Readme ファイルは、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。

マニュアル / メディア / ラベル	内容
OS のメディア 『再インストール用』メディアとして CD または DVD が、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。	OS の再インストール
安全、認可機関、保証およびサポートに関するマニュアル この種の情報は、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ **www.dell.com/regulatory_ compliance** をご覧ください。	• 保証に関する情報 • 安全にお使いいただくために • 認可機関の情報 • 快適な使い方 • エンドユーザーライセンス契約
サービスマニュアル お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• 部品の取り外しおよび取り付け方法 • システムの設定方法 • トラブルシューティングおよび問題解決の方法
Dell テクノロジガイド 『Dell テクノロジガイド』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• お使いの OS について • デバイスの使い方とメンテナンス • RAID、インターネット、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ、電子メール、ネットワークおよびその他様々なテクノロジについて
Microsoft® Windows® ライセンスラベル お使いの Microsoft Windows ライセンスは、コンピュータに貼付されています。	• OS のプロダクトキーが記載されています

7

困ったときは

テクニカルサポートを受けるには

警告：コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。お使いのコンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

コンピュータに何らかの問題が発生した場合は、問題の診断と解決のために次の手順を行います。

1 コンピュータで発生している問題に関する情報および手順については、50 ページの「ヒント」を参照してください。

2 Dell Diagnostics を実行する手順については、55 ページの「Dell Diagnostics」を参照してください。

3 76 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」に必要事項を記入してください。

4 インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）をご覧ください。デルサポートオンラインのさらに詳細なリストについては、73 ページの「オンラインサービス」を参照してください。

5 これまでの手順で問題が解決しない場合は、77 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ：デルサポートへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

メモ：デルのエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコードをお持ちでない場合は、**Dell Accessories** フォルダを開き、**エクスプレスサービスコード**アイコンをダブルクリックします。その後は、表示される指示に従ってください。

デルサポートの利用方法については、72 ページの「テクニカルサポートとカスタマーサービス」を参照してください。

 メモ：次のサービスは、米国本土以外ではご利用になれないことがあります。サービスが利用できるかどうかは、最寄のデルへお問い合わせください。

テクニカルサポートとカスタマーサービス

Dell™ ハードウェアに関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはコンピュータによる診断に基づいて、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートへお問い合わせになるときは、まず 75 ページの「お問い合わせになる前に」を参照し、次に、お住まいの地域の連絡先を参照するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect™

DellConnect は簡単なオンラインアクセスツールで、このツールの使用により、デルのサービスおよびサポートは、お客様の監視の下でブロードバンド接続を通じてコンピュータにアクセスし、問題の診断と修復を行うことができるようになります。詳細については、**support.jp.dell.com** にアクセスし、**DellConnect** をクリックして表示されるページを参照してください。

オンラインサービス

Dell 製品およびサービスについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

www.dell.com/jp

デルサポートへのアクセスには、次のウェブサイトおよび電子メールアドレスをご利用ください。

- デルサポートサイト

  support.jp.dell.com

- デルサポートの電子メールアドレス

  apsupport@dell.com （アジア / 太平洋地域のみ）

- Anonymous file transfer protocol（Anonymous FTP）

  ftp.dell.com – `anonymous` ユーザーとしてログインし、パスワードには電子メールアドレスを使用してください。

FAX 情報サービス

FAX 情報サービスは、フリーダイヤルでファクシミリを使用して技術情報を提供するサービスです。

FAX 情報サービスをご利用の際はプッシュホン式の電話を使用し、該当する質問項目を選択します。電話番号については、77 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、24 時間納期情報案内サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、77 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題がある場合は、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号については、77 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルのその他の製品に関する情報や、ご注文に関しては、デルウェブサイト **www.dell.com/jp** をご覧ください。お住まいの地域のセールスの電話番号について、またはセールス担当者への連絡は、77 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

修理と返品のいずれの場合も、返送するものをすべて用意してください。

1. はじめにデルの営業担当者にご連絡ください。デルから製品返送用の RMA ナンバー（返却番号）をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでください。

   電話番号については、77 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。請求書のコピーと返品理由を記入した書面を同梱してください。

2. 実行したテストと Dell Diagnostics（76 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）から出力されたエラーメッセージを記入した Diagnostics（診断）チェックリスト（77 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）のコピーを同梱してください。

3. 修理や交換ではなく、返金を希望される場合は、返品する製品のアクセサリ（電源ケーブル、ソフトウェアフロッピーディスク、マニュアルなど）も同梱してください。

4. ご購入時の梱包材（または同等品）で返品される装置を梱包してください。

送料はお客様のご負担となります。返品に関する製品の保証責任はお客様の負担となり、お客様がデルへの返送中の紛失等の危険負担を負うものとします。代金引換払い（C.O.D.）による返品は受け付けられません。

上記要件のいずれかを欠く返品は受け付けられず、返送扱いとなります。

お問い合わせになる前に

 メモ：お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードを利用すると、デルのオートテレフォンシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。また、サービスタグ（コンピュータの背面または底部にあります）が必要な場合もあります。

Diagnostics（診断）チェックリストに前もってご記入ください（76 ページの「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからのコマンドの入力や、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。また、コンピュータのマニュアルもご用意ください。

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、コンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの追加情報に関しては、規制順守ホームページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。**

Diagnostics（診断）チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグナンバー(コンピュータ背面または底面のバーコードの番号)：

エクスプレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

OS とバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか?はい　いいえ

ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：

OS のマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合は、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または Diagnostics（診断）コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

メモ：お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **support.jp.dell.com** にアクセスし、ページ下の **国・地域の選択** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
2. ページ左側にある **お問い合わせ** をクリックし、目的に合ったサービスまたはサポートリンクを選択します。
3. ご都合の良いお問い合わせの方法を選択します。

索引

し

せ

そ

て

と

に

ね

ふ

ほ

ま

め

ら